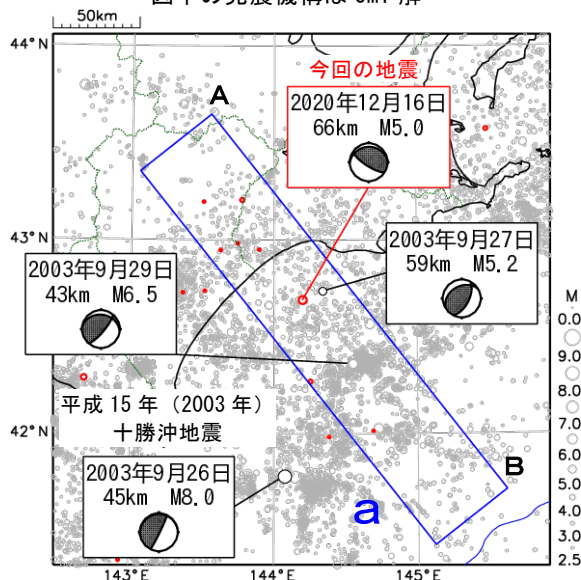


12月16日 釧路沖の地震

震央分布図
(2001年10月1日～2020年12月31日、
深さ0～200km、 $M \geq 2.5$)
2020年12月の地震を赤く表示
図中の発震機構はCMT解

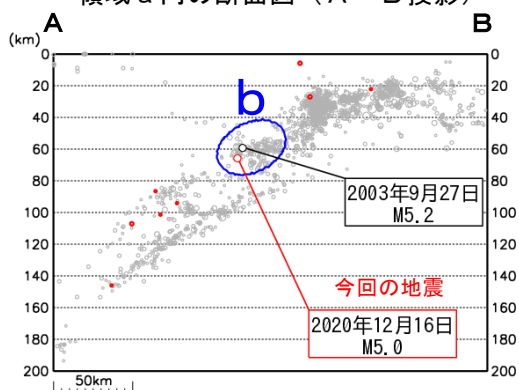


2020年12月16日10時26分に釧路沖の深さ66kmで $M5.0$ の地震（最大震度3）が発生した。この地震の発震機構（CMT解）は北北東－南南西方向に圧力軸を持つ型で、太平洋プレート内部で発生した。

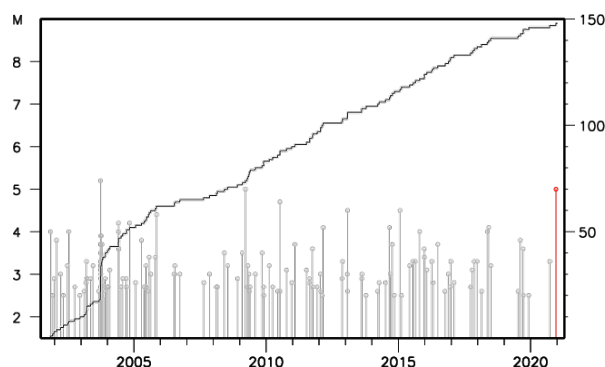
2001年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）では、 $M5.0$ 以上の地震は3回発生している。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、 $M6.0$ 以上の地震がしばしば発生している。2003年9月26日の「平成15年（2003年）十勝沖地震」（ $M8.0$ 、最大震度6弱）では、十勝港で255cmの津波を観測するなど、北海道から四国の太平洋沿岸で津波を観測した。この地震により、北海道では死者1人、行方不明者1人、負傷者847人、住家被害2,065棟などの被害が生じた（「理科年表」による）。

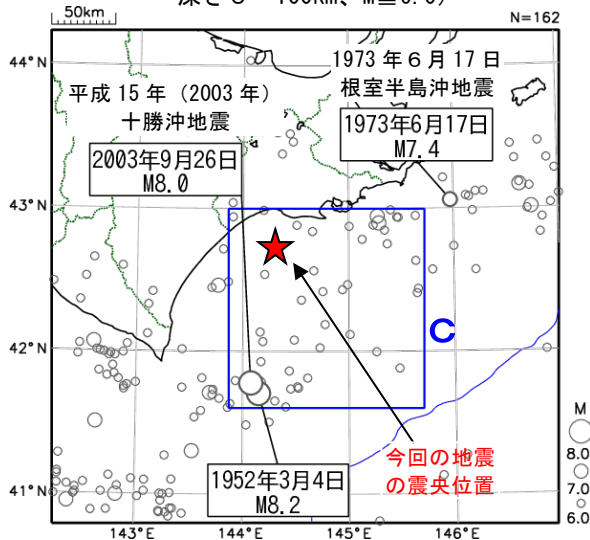
領域a内の断面図（A－B投影）



領域b内のM－T図及び回数積算図



震央分布図
(1919年1月1日～2020年12月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 6.0$)



領域c内のM－T図

